

はじめての経験

去年の十月二十日但馬地方に台風がきました。こんなことになるなんて思っていたなかっ

たので、すごくおどろきました。午後五時ごろに夕飯を食べていると、母が帰って来ました。

「早く避難せんか。もうそこまで水が来とるぞ。」

そう言われてびっくりして、すぐに荷物をまとめて近くにあるおばあちゃんの家

へ行きました。父が十一時ごろ帰って来て

「提防が切れたぞ。」

と言い、二階へあかりました。防災無線を聴

いていると、豊田の梶原も提防が切れたことを伝えていて、ずっと寝ないで聴き続けまし

た。朝になつて外に出てみると、水がすぐそこ

までできていて、自分の家が心配になりました。

何日かして家の片付けに行くと、すごいこ

とになつていました。私の机は真二二つに割

れていました。写真も全部だめになっ  
ていました。母の親せきに来て、家  
の中の物を全部出すのを手伝って  
くれました。それから家の  
中を洗ってふき、かわかしました。  
私は家がこわされていてみるみた  
いでいやでした。私は水につか  
ってしま。た写真をアルバム  
からはがしてかわかしました。保  
育園やそりすべり台びんすごく  
なつかしい写真が出てきて、良  
か。たと思。いました。

今、一年た。て家や小学校はす  
ごくきれいにもど。っています。  
でも片間にはまだ土砂くずれの  
跡など元にもど。ていない所が  
あります。学校が再開した時校  
長先生が、水害にあってた人も  
少しづつ明るくな。ら。下  
さい。とい。い。と  
言われ。ました。私はそれが心  
に残。り。今も明るくすご。して  
います。心がけていたし、家族  
もさ。え。てくれ。た。か。ら  
だ。し。思。い。ま。す。そ。し。て  
またいつか台風がくる  
前の小坂の風景にもど。て  
ほしいです。